

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学-循環	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年	学期	前期	教室名	901教室
担 当 教 員	徳富 真洋				
実務経験と その関連資格	理学療法士として大学病院で心大血管疾患リハを中心に14年間の臨床勤務。その後11年、急性期病院および回復期病院での急性心筋梗塞、慢性心不全、心臓血管外科術後のリハ全般に従事した。				
《授業科目における学習内容》					
循環器疾患の基礎的な知識を整理し、循環器疾患に対する理学療法の介入方法、リスク管理等を学ぶ					
《成績評価の方法と基準》					
筆記試験					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
テキストおよび配布資料 【テキスト】指定なし 【参考図書】①病気が見える2循環器②循環器疾患ビジュアルブック③狭心症・心筋梗塞のリハビリテーション④眼でみる実践心臓リハビリテーション⑤ハート先生の心電図教室⑥疾患別リハビリテーションリスク管理マニュアル⑦日本循環器学会(JCS)ガイドライン					
《授業外における学習方法》					
関連する基礎分野の復習、不足している知識の補充を行っておくこと					
《履修に当たっての留意点》					
心大血管リハにおける基礎を習得し興味を持てるような授業展開を考えています。なんとなく講義を受けるのではなく能動的に受講して下さい。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	正常な循環器の解剖・生理・の基礎が理解できる ①	配布資料	解剖・運動生理の復習	
	各コマにおける授業予定	解剖学、運動生理学の確認			
第2回	授業を通じての到達目標	正常な循環器の解剖・生理・の基礎が理解できる ②	配布資料	解剖・運動生理の復習	
	各コマにおける授業予定	解剖学、運動生理学の確認			
第3回	授業を通じての到達目標	正常な循環器の解剖・生理・の基礎が理解できる ③	配布資料	解剖・運動生理の復習	
	各コマにおける授業予定	解剖学、運動生理学の確認			
第4回	授業を通じての到達目標	正常な循環器の解剖・生理・の基礎が理解できる ④	配布資料	解剖・運動生理の復習	
	各コマにおける授業予定	解剖学、運動生理学の確認			
第5回	授業を通じての到達目標	心電図の基礎を理解できる、代表的な不整脈を理解できる①	配布資料	不整脈の復習	
	各コマにおける授業予定	心電図のみかた、不整脈の確認			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	心電図の基礎を理解できる、代表的な不整脈を理解できる②	配布資料	不整脈の復習
	各コマにおける授業予定	心電図のみかた、不整脈の確認		
第 7 回	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患について理解できる ①	配布資料	虚血性心疾患、内科学の復習
	各コマにおける授業予定	狭心症の病態について		
第 8 回	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患について理解できる ②	配布資料	虚血性心疾患、内科学の復習
	各コマにおける授業予定	狭心症、心筋梗塞について(病態・治療・リハビリテーション)		
第 9 回	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患について理解できる ③	配布資料	虚血性心疾患、内科学の復習
	各コマにおける授業予定	心筋梗塞について(病態・治療・リハビリテーション)		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患について理解できる ④	配布資料	虚血性心疾患、内科学の復習
	各コマにおける授業予定	心筋梗塞について(病態・治療・リハビリテーション)		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	心不全病態、リハビリテーションについて理解できる①	配布資料	関連教科の復習と心不全の理解を深めておく
	各コマにおける授業予定	心不全の病態、症状、リハ介入方法とそのリスク等について		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	心不全病態、リハビリテーションについて理解できる②	配布資料	関連教科の復習と心不全の理解を深めておく
	各コマにおける授業予定	心不全の病態、症状、リハ介入方法とそのリスク等について		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	心臓血管外科術後のリハビリテーションについて理解できる	配布資料	関連教科の復習と理解を深めておく
	各コマにおける授業予定	心臓血管外科術後の症状、リスク、評価等について		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	症例提示を通じて循環器疾患患者のリスク管理、運動処方について理解できる①	配布資料	
	各コマにおける授業予定	症例提示(グループワーク)		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	症例提示を通じて循環器疾患患者のリスク管理、運動処方について理解できる②	配布資料	
	各コマにおける授業予定	症例提示(グループワーク)		